



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2016-2017年度 国際ロータリーテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

2016-2017年度 RI第2730地区テーマ

「ロータリーを楽しもう！」

2016-2017年度 クラブテーマ

「育もう!世界の子供たちの夢」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロバニエミ・サンタクース RC ドイツ カールスシュタット・アインシュタイン RC ● 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 上川 咲男 会長エレクト: 上箇 真歩 会長ノミニ: 内田修友 幹事: 柳元 尚喜

職業 業 奉 仕 月 間

2016-2017年度 RI会長 ジョン・ジャーム

2016-2017年度 第2730地区ガバナー 大重勝弘(指宿RC)

市内分区分ガバナー補佐 古木圭介(鹿児島西RC) 興津立夫(鹿児島東RC)

週 報

Vol.59 No.25

平成 29 年 (2017 年)

1 月 18 日

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119

E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル

【第 2829 回例会】夜間例会(フィンランド派遣高校生帰国報告)

2017 年 1 月 11 日 第 2828 回例会

鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会 (会順)

進行: 鹿児島城西 RC 会長 野田健太郎

1. 点鐘 鹿児島城西 RC 会長 野田健太郎
2. 国歌斉唱「君が代」
3. ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
ソングリーダー 鹿児島城西 RC 古田聡美
4. 乾杯 登壇 ガバナー、ガバナー補佐、副知事、各
クラブ会長
鹿児島市内分区分ガバナー補佐 古木圭介
～ 会 食 ～
5. ゲスト紹介並びに会長挨拶
鹿児島城西 RC 会長 野田健太郎
6. ガバナー挨拶 RI2730 地区ガバナー 大重勝弘
7. 出席報告 鹿児島城西 RC 幹事 時村佳尚
8. 副知事卓話 鹿児島県副知事 小林洋子
9. 閉会の辞 鹿児島東 RC 会長 上村邦典
10. ロータリーソング斉唱「手に手つないで」
ソングリーダー 鹿児島城西 RC 古田聡美
11. 点鐘 鹿児島城西 RC 会長 野田健太郎

【鹿児島城西 RC 会長挨拶】

鹿児島市内分区分のロータリアンの皆さん、新年おめでとうございます。お集りの皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、本日は、鹿児島県副知事小林洋子様並びに第 2730 地区ガバナー大重勝弘様にお越し頂きました。新年のご多用のなか、ご出席賜り厚く御礼申し上げます。

さて、アメリカのトランプ大統領の就任もまちかとなり、世界の大企業が振り回されているようですが、昨年は、鹿児島で、東京で、そしてアメリカ、ヨーロッパでトップの交代が続き、その動きは今年も続きそうです。この変化によりどのような進歩が私たちの社会に刻まれていくのか大いに注目したいところですが、一方で、このような変化に無縁に見える IS などのテロ行為の悲惨な現場や、空爆により崩壊した街で泣き叫ぶ住民、国を離れなければならなくなった幼い子供たちを含む難民の群れ、あるいは、熊本地震で崩壊した街や山肌、巨大な竜巻や台風により一変した町などの映像が報道され、絶えることがありませんでした。

また、一見平穏に見える私たちの社会でも、子供の貧困、高齢者の孤立、あるいは世代間、地域間の格差の拡大など多くの問題が指摘されながら、なかなか対応が追いつかない状況が続いています。

ロータリーは、奉仕の理念の下、自分たちの職業に、そして、社会に、国際理解に、また、青少年の育成に奉仕することをモットーとしていますが、私たちの奉仕の行動を待つ社会のニーズはいたる所にあるといえるでしょう。

ロータリーでは、今年、ロータリー財団 100 周年を祝います。100 年前の 1917 年にアトランタで開かれたロータリーの大会で、時の会長アーチ・克蘭フは、「私たちは自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのために良いことをする喜びのために生きるべきです。」と呼びかけ、「よいことをする」(doing good) ための基金を提唱しました。これに応じて 26 ドル 50 セントの寄付が寄せられたのを嚆矢として寄付が寄せられ、1928 年にはロータリー財団と名称がつけられました。ご承知のように、財団はその後発展を遂げ、国際親善奨学金などの教育プロジェクト、ポリオ撲滅を目指すポリオプラスに代表される保健プロジェクトなど、多くのプロジェクトを実現してきました。その財団は 100 周年を迎えるのを契機に、ロータリアンの多様な活動を支援し、継続的に活力が維持されていくように、地区の資金利用の自由度を高めるなどの制度の整備が行われています。

ロータリーの活動は、近年少し停滞しているようにも見えますが、先に述べたように、奉仕を求めるニーズは身近なところから世界的な規模まで、いたるところに見出せそうです。

このロータリー財団 100 周年の年に当たり、私たちは今一度ロータリーの奉仕の理念を思い起こし、ロータリアンとしての、そしてロータリークラブとしてのあらたな行動を起こしたいものだと思います。

最後に、この一年が皆様とご家族並びに従業員の皆さんにとって、より良い行動の年となることを祈念して、ご挨拶いたします。



小林洋子副知事



小林副知事、大重ガバナー
古木ガバナー補佐
興津ガバナー補佐